

**宝塚大学 看護学部 看護学科 2023年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(2022年度以降入学生科目) 新課程 シラバスより**

担当教員	専任／非常勤	2023授業科目	科目ナンバ	必修／選択	単位数	時間数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
北島 洋子	専任	基礎看護学概論	KSP11101	必修	2	30	大学病院で看護師として小児科病棟に勤務し、血液疾患や悪性疾患の看護に携わった。また、腎臓泌尿器専門病院に勤務し、人工透析や糖尿病の看護を経験した。	小児期から成人期、老年期にわたる各発達段階に応じた看護を提供するための、基礎的な知識と技術、看護専門職としての基盤となる考え方を修得するための学習を支援する。
		看護理論	KSP11102	必修	1	15		
		看護コミュニケーション論	KSP11202	必修	1	30		
		基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60		
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
		基礎看護学実習Ⅰ	KSP11401	必修	1	45		
神寶 ひろみ	専任	基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60	総合病院、大学病院で循環器(CCU)で循環器外科・内科、消化器外科、救命救急病棟で看護師として、また看護科長補佐として臨床経験がある。 また、初治療では緊急アンギオカテテル(心臓・脳外科・消化器)、消化器内視鏡検査・治療に携わり、内視鏡技師の資格を得て看護を経験した。	自身の看護実践の経験をもとに、健康障害を持つ対象に対して、「より健康に生きる」ための援助、その人の健康の状態や援助の必要性をしっかりと読み取ることが「できる」、看護することの意味や喜びを看護者も感じ取れる基本姿勢を身に付けられるよう支援します。
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
		基礎看護学実習Ⅰ	KSP11401	必修	1	45		
		基礎看護学実習Ⅱ	KSP21401	必修	3	135		
瀬山 由美子	専任	基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60	総合病院で看護師として脳外科、内科、手術部、救命救急の臨床経験がある。また、内科、腎臓泌尿器科の診療所で内視鏡検査の看護を経験した。	疾患の重症度や発達段階にあわせた看護を提供するために必要な基本的な知識と技術の習得を支援する。命の尊厳と心の尊重を基軸として安全で安楽な看護の修得を支援する。
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
		基礎看護学実習Ⅰ	KSP11401	必修	1	45		
		基礎看護学実習Ⅱ	KSP21401	必修	3	135		
森永 聡美	専任	基礎看護学援助技術Ⅰ	KSP11203	必修	2	60	地域拠点病院、大学病院、特別養護老人ホーム、有床クリニックにて、形成外科、皮膚科、婦人科、整形外科、消化器外科での看護実践を経験した。 臨床指導者・現任教育委員として、学生の実習教育・新人看護師の教育に携わった。	自身の看護実践の経験をもとに、対象者の生活を見据えた援助ができるよう、具体的事例を通じた知識・技術を伝えていきたい。 自己効力理論をベースとして、学生の主体な学習を支援したいと考えている。
		基礎看護学援助技術Ⅱ	KSP11204	必修	2	60		
		基礎看護学実習Ⅰ	KSP11401	必修	1	45		
		基礎看護学実習Ⅱ	KSP21401	必修	3	135		
國松 秀美	専任	ヘルスアセスメント	KSP21202	必修	1	30	総合病院で看護師、認定看護師、看護師長として、循環器・呼吸器内科・救命救急センター・集中治療室での臨床経験がある。シミュレーションを用いたスタッフ教育を実践してきた。また、新人看護師専任師長として、新人看護師教育に携わっている。	健康障害を持つ人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、患者の気がかりを中心とした情報を解釈・分析し、科学的根拠に基づいた看護が実践できるよう教授する。
		看護過程展開の基礎	KSP21203	必修	1	30		
		基礎看護学実習Ⅰ	KSP11401	必修	1	45		
		基礎看護学実習Ⅱ	KSP21401	必修	3	135		
前中 夕紀	専任	ヘルスアセスメント	KSP21202	必修	1	30	看護師として、総合病院の手術室、救命救急センター等の臨床経験がある。臨床ではDMATとして活動し、現在も国際緊急援助隊として災害看護に携わっている。	臨床での実践経験をもとに、基礎的な看護の知識や技術を中心に根拠に基づいた看護が行えるよう教授する。
		看護過程展開の基礎	KSP21203	必修	1	30		
		基礎看護学実習Ⅰ	KSP11401	必修	1	45		
		基礎看護学実習Ⅱ	KSP21401	必修	3	135		
桶河 華代	専任	地域・在宅看護学概論	KSP21101	必修	2	30	大学病院で、病院看護師として脳外科病棟等で臨床経験がある。また、公立保育所で、保育所看護師として、乳幼児に対する保育や健康管理に携わる。さらに、地域で生活する人々に訪問看護師として在宅看護に携わる。	地域で生活する人々に対しての看護と多職種で共同する看護の役割を教授する。すべての年齢、疾患を対象とした健康の保持・増進と健康段階に合わせた看護の提供を教授する。
		地域・在宅看護学援助論Ⅰ	KSP21102	必修	1	15		
		地域・在宅看護学援助論Ⅱ	KSP21103	必修	2	30		
中川 ひろみ	専任	成人看護学概論	KSP21104	必修	1	15	大学病院で看護師、認定看護師、看護師長として内科と外科、集中治療室・救急部での臨床経験がある。成人期にある人々を対象とした看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ急性期、慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		成人看護学援助論Ⅰ	KSP21204	必修	2	60		
		成人看護学援助論Ⅱ	KSP21205	必修	1	30		
房間 美恵	専任	成人看護学概論	KSP21104	必修	1	15	総合病院で看護師、看護師長として腎臓内科や免疫内科、内分泌内科、呼吸器内科、泌尿器科などの臨床経験があり、看護学生の实習指導に携わってきた。	実臨床での具体的な事例をもとに、慢性的「病い」をかかえて生きる人々がもつ課題を理解し、問題解決への取り組みができるよう看護理論を踏まえながら解説を行う。
		成人看護学援助論Ⅰ	KSP21204	必修	2	60		
		成人看護学援助論Ⅱ	KSP21205	必修	1	30		
浅井 直子	専任	成人看護学概論	KSP21104	必修	1	15	看護師として医療型障害児入所施設にて、呼吸器内科の臨床経験がある。呼吸療法認定師として、スタッフ教育に携わってきた。	臨床での経験をもとに、呼吸ケアの知識や技術についての学習支援を促す。
		成人看護学援助論Ⅰ	KSP21204	必修	2	60		
		成人看護学援助論Ⅱ	KSP21205	必修	1	30		

**宝塚大学 看護学部 看護学科 2023年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(2022年度以降入学生科目) 新課程 シラバスより**

担当教員	専任／非常勤	2023授業科目	科目ナンバー	必修／選択	単位数	時間数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
小林 いずみ	専任	成人看護学概論	KSP21104	必修	1	15	看護師として民間病院の混合内科や腎臓内科の経験がある。	患者が慢性疾患に至った経緯を把握し、治療や看護、退院後に患者のライフスタイルがスムーズに変容できる援助を自ら学ぶサポートを行う。
		成人看護学援助論Ⅰ	KSP21204	必修	2	60		
		成人看護学援助論Ⅱ	KSP21205	必修	1	30		
松尾 ひとみ	専任	小児看護学概論	KSP21106	必修	2	30	看護師として、600床の民間病院で3年間外科・NICUを経験後、小児専門病院で循環器、NICU、ICU、感染症を10年経験した。実習指導者や新人指導を経験し、旧日本看護協会看護研修学校に進学した。教員となつてからは、臨床の小児看護師との事例検討や研究の相談を行ってきた。	小児看護の実践の根拠として有益な知識や理論を教授し、初学者でも実習で理論を活用できるよう、知識と実践の統合を促進する教育方法を組み立てている。
		小児看護学援助論Ⅰ	KSP21207	必修	1	30		
鷺尾 弘枝	専任	母性看護学概論	KSP21107	必修	2	30	大学附属病院、病院、診療所において助産師としての臨床経験がある。また、産科だけでなく、婦人科での臨床経験がある。さらに、病棟管理者として、臨床指導者として、看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ女性及び周産期にある母子の生理的変化、身体的・精神的・社会的な特徴と看護ケアについて教授する。また、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
東尾 公子	専任	母性看護学援助論Ⅰ	KSP21208	必修	1	30	助産師として、総合病院の産婦人科病棟、助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、ウェルネスの視点で周産期の対象と新生児の看護について教授する。
西垣 里志	専任	精神看護学概論	KSP21108	必修	2	30	精神科病院で、看護師、認定看護師としての実務経験がある。急性期、慢性期、外来、訪問、家族などを対象とした臨床経験があり、看護学生の実習指導にも携わってきた。	精神障害をもつ人々が、病をもって生きることの生きづらさやそれを支える家族の支援について、臨床経験を踏まえ具体的事例を通して、多面的に捉えられるように教授する。
		精神看護学援助論Ⅰ	KSP21209	必修	1	15		
		精神看護学援助論Ⅱ	KSP21210	必修	1	15		
椋本 美帆	専任	精神看護学概論	KSP21108	必修	2	30	総合病院で、看護師として精神科や身体科に勤務し、身体合併のある精神障害をもつ人に対する看護、脳卒中の看護を経験した。また産業看護師や保健師として、地域で生活を送る人々に対する健康管理や健康相談の実務経験がある。	身体的・精神的・社会的側面など、精神障がいをもつ人を多面的に捉え支援する精神看護について教授する。
		精神看護学援助論Ⅰ	KSP21209	必修	1	15		
		精神看護学援助論Ⅱ	KSP21210	必修	1	15		
実務経験のある教員等による授業科目の単位数(重複科目は除く)					33			